

1年に1度の受診で生活習慣病を予防！

健康診査は、生活習慣病の前段階であるメタボリックシンドロームを発見するための検査で、加入している医療保険者によって年1回実施されます。

出雲市国民健康保険または後期高齢者医療に加入の方は、以下のとおり健康診査を実施します。健康に自信がある方も、通院中の方も、健康診査を受けましょう。



受ける期間	7月1日(火)～10月31日(金)		
受ける場所	約90の医療機関(個別案内または市ホームページでご確認ください)		
検査項目	身体測定、血圧測定、血液検査(脂質、血糖、肝機能、腎機能(後期高齢者を除く))、尿検査(糖、たんぱく)、医師による診察、問診 ※このほか、医師が必要と判断した場合は、貧血検査、心電図検査、眼底検査等を行います。(全員ではありません)		
自己負担金	無 料	健診の種類	以下の区分により行います。

特定健康診査

●対象者

40歳から74歳の出雲市国民健康保険に加入の方

●持ち物

マイナ保険証または資格確認書、

受診券、質問票

※7月31日までは従来の保険証でも受診できます。

【受診券発行について】

令和7年3月末日時点で出雲市国民健康保険に加入されている方には、受診券と質問票を郵送します。

4月以降に加入された方は、右の二次元コードから受診券の発行申請が必要です。電話での発行申請もできますので、健康増進課におたずねください。



▲もっと詳しく



▲受診券発行

- ◆20歳以上の生活保護世帯の方も同様の健診が無料で受けられますので、医療機関の窓口申し出て受診してください。
- ◆医療機関での個別健診のほか、JAなどが実施する集団健診も含め、年に1回しか受診できません。
- ◆健診結果については、受診した医療機関からお知らせします。

後期高齢者健康診査

●対象者

75歳以上の後期高齢者医療に加入の方

※一定の障がいのある65歳以上の方を含みます。

●持ち物

マイナ保険証または資格確認書

※7月31日までは従来の保険証でも受診できます。

※受診券はありません。



▲もっと詳しく

若年齢層健康診査

●対象者

20歳から39歳の出雲市国民健康保険に加入の方

●持ち物

マイナ保険証または資格確認書

※7月31日までは従来の保険証でも受診できます。

※受診券はありません。



▲もっと詳しく

肝炎ウイルス検診

ウイルス性肝炎は、自分でも知らないうちに感染し、感染に気付かず放置していると、やがて肝硬変や肝がんなどの病気を引き起こすおそれがあります。

病気が進行すると、回復や治療がしにくくなるため、症状が出る前に感染を知ることが大切です。



▲もっと詳しく

対象者	40歳以上で、今まで1度も検査を受けていない方(加入保険に関わらず受診できます)		
受ける期間	7月1日(火)～令和8年3月31日(火)		
受ける場所	約80の医療機関(市ホームページまたは健診を受診する医療機関にご確認ください)		
検査項目	血液検査(B型・C型肝炎ウイルス検査)、問診	自己負担金	無 料

※市が行う上記健診や事業所健診の採血の際に同時に行いますので、必ず健診とあわせて受診してください。
肝炎ウイルスのみを調べたい場合は、出雲保健所(TEL 21-1191)へおたずねください。

子どもの予防接種のご案内

お子さまを対象とした下記の予防接種は、対象の期間内であれば無料で受けることができます。母子健康手帳を確認し、期限に余裕を持って接種を受けましょう。
期間を過ぎますと接種費用が全額自己負担となりますのでご注意ください。

対象者	予防接種の種類	接種期限
2歳未満	麻しん風しん混合1期	2歳の誕生日の前日まで
3歳未満	水痘	3歳の誕生日の前日まで
就学前	麻しん風しん混合2期※1	令和8年3月31日まで
	日本脳炎1期	7歳6か月の前日まで
小学4年生※2	日本脳炎2期	13歳の誕生日の前日まで
小学6年生※2	2種混合	

※1 対象は年長児(平成31年4月2日～令和2年4月1日生まれ)です。

※2 対象のお子さまには、6月末～7月上旬に案内文書と予診票を送ります。

予診票を紛失された方には、予診票の再交付をいたします。市役所本庁 健康増進課または各行政センター市民サービス課へ母子健康手帳を持ってお越しください。

母子健康手帳をお忘れの場合は、予診票の再交付ができませんのでご注意ください。 自宅への郵送を希望される場合は、右記の二次元コードから電子申請をしてください。



おたずね／健康増進課 TEL 21-6829

子宮頸がんを知っていますか？ HPVワクチンで子宮頸がんを予防しましょう

子宮頸がんは若い年齢層で発症する割合が比較的高いがん、患者は20歳代から増え始めます。HPV(ヒトパピローマウイルス)の感染が原因と考えられており、女性の多くが一生に一度は感染するといわれています。

子宮頸がんにかかる女性
約1.1万人／年

子宮頸がん で亡くなる人
約2,900人／年

治療で子宮を失ってしまう人
約1,000人／年

子宮頸がん で苦しまないために、できることが2つあります。

① HPVワクチン

▶ HPVの感染を予防します

② 子宮頸がん検診

▶ がんを早期発見し治療します
▶ 20歳以上の方は、定期的に検診を



● HPVワクチン接種の対象者(無料で接種ができる方)

	対象年齢	接種期限
① 定期接種対象者	小学6年生～高校1年生相当の女性	高校1年生相当になる年度の年度末まで
② キャッチアップ接種 経過措置対象者(※)	平成9年4月2日～ 平成21年4月1日生まれの女性	令和8年3月31日まで

※令和4年4月1日～令和7年3月31日までの間に1回以上接種した方が対象となります。

ご注意ください

- ・出雲市から転出する場合、転出日当日から出雲市の予診票を使って接種を受けることはできません。
- ・接種期限を過ぎると、接種費用は自己負担となります。
(3回の接種で約10万円の費用がかかります。)



詳しくはこちらから▶

おたずね／健康増進課 TEL 21-6829